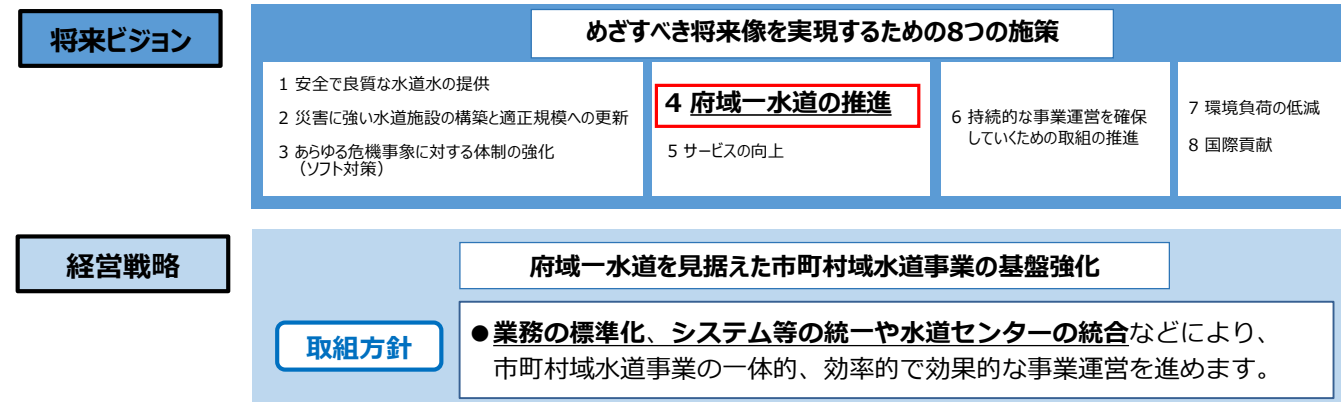


市町村域水道事業の基盤強化について

令和7年7月議員全員協議会

資料3

(1) 将来ビジョン及び経営戦略（2020-2029）の位置付け



(2) 業務の標準化

■ 営業業務の標準化

- 「検針・徴収スケジュール」や「使用開始・中止時の料金計算」など
- 漏水に係る水道料金の減免基準、滞納に係る給水停止等基準の策定

◆実施済：10事業
(R6.10：8事業、R7.4：2事業)
◆実施予定：8事業（R8以降）

■ 給水装置工事施行基準の標準化

- 工事申込手続、引込管口径の決定方法、給水方式の条件など

◆実施済：13事業（R6.10）
◆実施予定：5事業（R8以降）

(3) システム等の統一、利用者サービス向上の取組

■ 統合水道料金システム等の導入

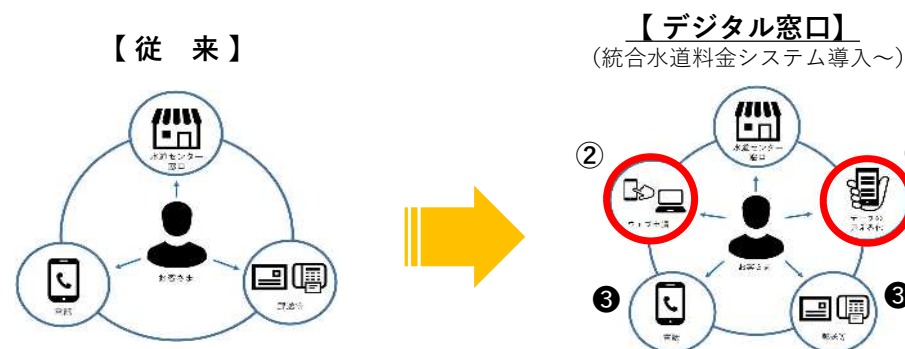
- 企業団に統合した水道事業が共同で使用する「**統合水道料金システム**」を構築
- 令和6年10月から稼働し、順次、各水道事業に導入
- インターネットで過去の水道料金や使用水量を確認できるサービス（**①データの見える化**）
- クレジットカード決済による料金支払い

◆導入済：10事業
(R6.10：8事業、R7.4：2事業)
◆導入予定：8事業（R8以降）

■ ウェブ申請の開始

- インターネットで、水道の使用開始・中止の手続きが可能（**②ウェブ申請**）

◆導入済：16事業
(R4.3：6事業、R4.4：4事業
R5.1：1事業、R5.7：2事業
R7.4：3事業)
◆導入予定：2事業（R7以降）



③ デジタルが苦手な方への対応として、電話や郵送による申請手続きは継続

(4) 効率的で効果的な事業運営（水道センター統合）

■ 統合する水道センター：泉南・阪南・田尻・岬

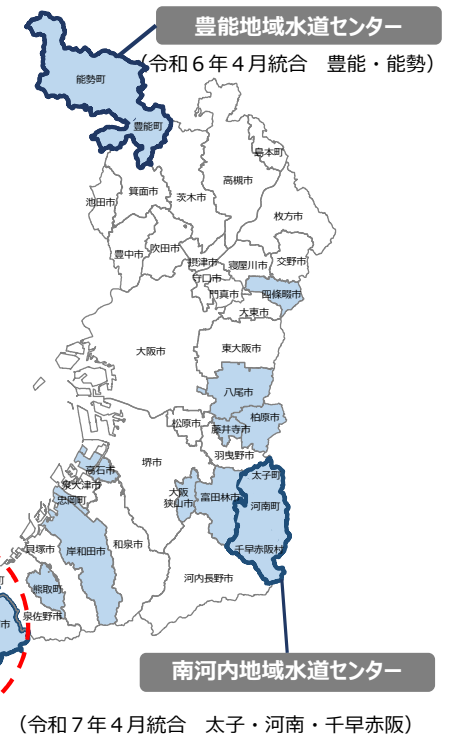
■ 時期：令和8年4月

■ 名称：（仮称）大阪広域水道企業団 泉南地域水道センター

※水道事業会計は統合後もそれぞれ区分して管理

- 統合水道センターの事務所は、現・泉南水道センターの場所に設置
- 現在の阪南・田尻・岬水道センターの場所には、出張所を設置して窓口業務を継続（※）
- ※今後、来庁者数の動向を踏まえながら、窓口のあり方を検討
- 給水工事申込などは、統合水道センターで受付

（仮称）泉南地域水道センター
(令和8年4月統合予定 泉南・阪南・田尻・岬)



< 水道センター統合で期待される効果 >

■ 人材育成と技術継承の強化

- ◆技術職員の集約により
 - 人材の**確保・育成**（区域に精通する技術職員を育成）
 - **技術継承**（持続可能な水道事業の実現）

■ 漏水事故への対応力の強化

- ◆組織力・指揮系統の強化、資機材の集約により
 - 大規模漏水事故の**早期復旧**
 - 複数箇所の漏水事故に**同時対応**

■ 災害時の対応力の強化

- ◆組織力・指揮系統の明確化により
 - 被害状況の**早期把握・集約**
 - 応急給水活動の**早期実施**
 - 応急復旧に向けた**早期の計画立案・復旧工事**
- ◆安定した体制の確保により
 - 復旧活動の**長期的かつ継続的な対応**

【現地対策本部の役割】
・被害状況の調査・集約
・応急給水活動の実施
・応急復旧計画の立案
・応急復旧工事の実施

災害時対応のイメージ図

